

新見市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (第46回：書面開催)

開催日：令和5年1月13日(金)

1. 開 会

2. 議 事

(1) 県内・市内の感染状況等(資料1)

(2) 岡山県の対応について(資料2)

3. 閉 会

新見市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 構成員名簿

【対策本部】

本部役職名	役職名	氏名
本部長	市長	戎 齊
副本部長	副市長	野間 哲人
本部員	教育長	正村 政則
	総務部長	高瀬 広視
	福祉部長	大田 好江
	産業部長	田辺 仁志
	建設部長	大西 俊之
	教育部長	小林 保
	消防長	富谷 剛
	議会事務局長	後藤 吉明
	大佐支局長	名越 伸明
	神郷支局長	石倉 洋祐
	哲多支局長	長谷川 美幸
	哲西支局長	小川 泰典

【オブザーバー】

所 属	役職名	氏名
新見市議会	議長	石田 實

【新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー】

所 属	役職名	氏名
新見公立大学	准教授	山野井 尚美

(1) 県内・市内の感染状況等

○県内の感染状況等（岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料抜粋）

保健福祉部

※速報値

令和5(2023)年1月12日
新型コロナウイルス感染症対策室

直近1週間の岡山県の状況（1/5～1/11）

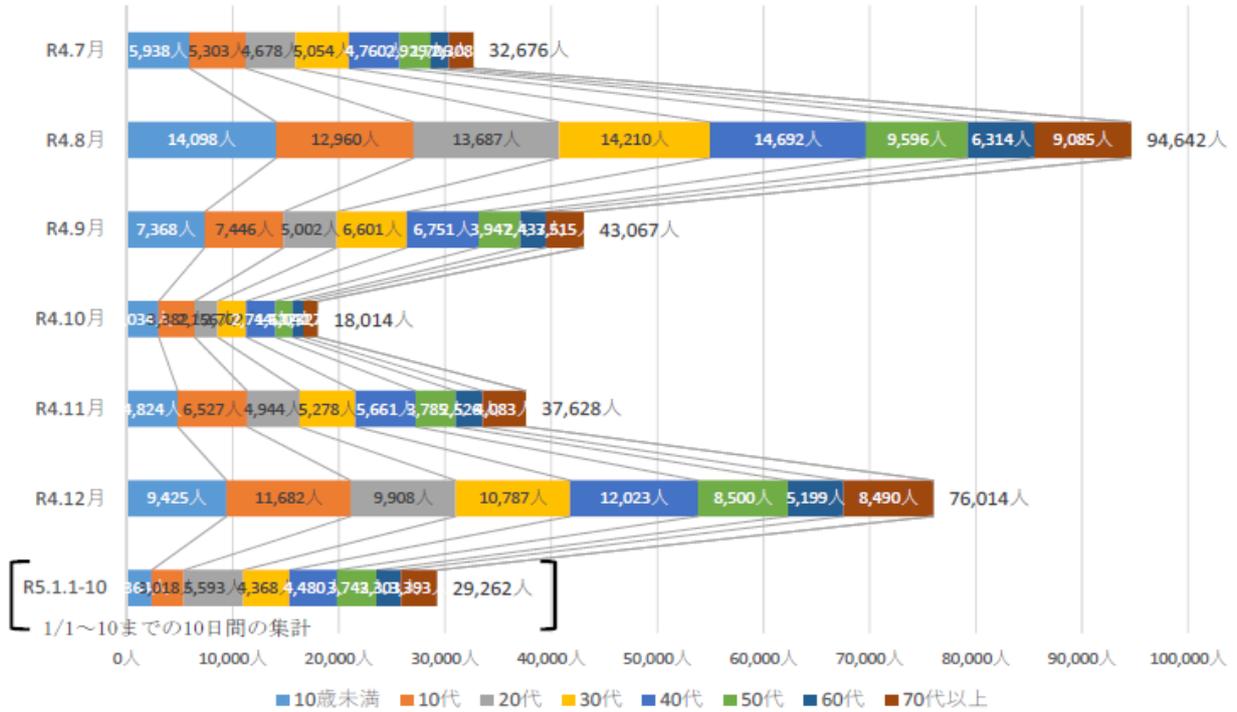
区分	確保病床使用率		新規陽性者数		PCR等陽性率	10万人あたり療養者数	入院率	重症者数	人口10万人あたり自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値
		重症者用	10万人あたり	今週先週比					
今週	70.8% 425床/ 600床	19.4% 13床/ 67床	1,414.72人 26,710人	1.74 26,710人/ 15,357人	115.4% 24,603件/ 21,313件 (※)	1,414.7人 26,710人	2.7% 720人/ 26,710人	14人	1,368.0人 25,828人
先週比較	↑	↔	↑	↑	↑	↑	↓	↔	↑
時点	1/11		1/5～1/11		1/10		1/11		
12/29～1/4	67.7% 406床/ 600床	19.4% 13床/ 67床	813.40人 15,357人	0.71 15,357人/ 21,623人	100.6% 15,357件/ 15,265件	813.4人 15,357人	3.8% 577人/ 15,357人	14人	776.6人 14,663人

※ PCR等陽性率は、1/3～9の期間における（新規陽性者数）を（1月10日までに医療機関等から報告があった検査数）で除した割合。
なお、濃厚接触者を医師の臨床診断により、検査を行わず陽性者と判断（みなし陽性）する場合があります。



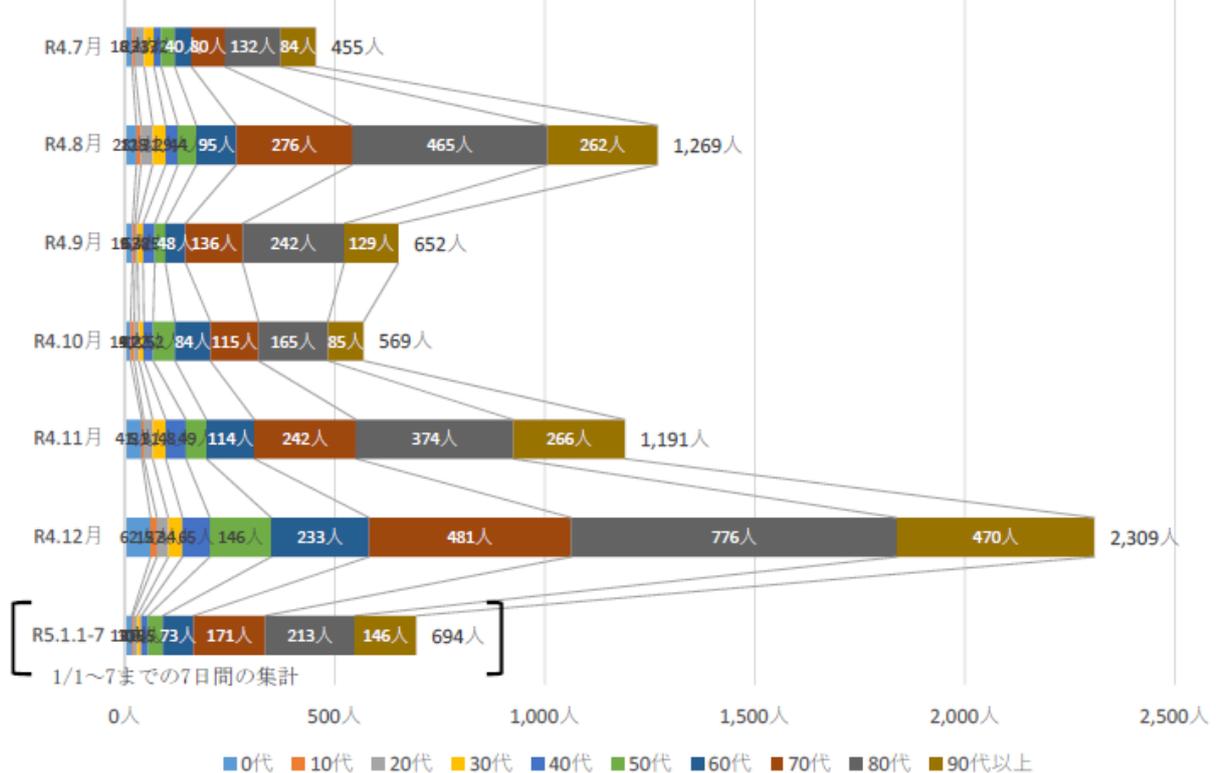
年代別新規陽性者数

12月は8月に次いで多くの新規陽性者が発生

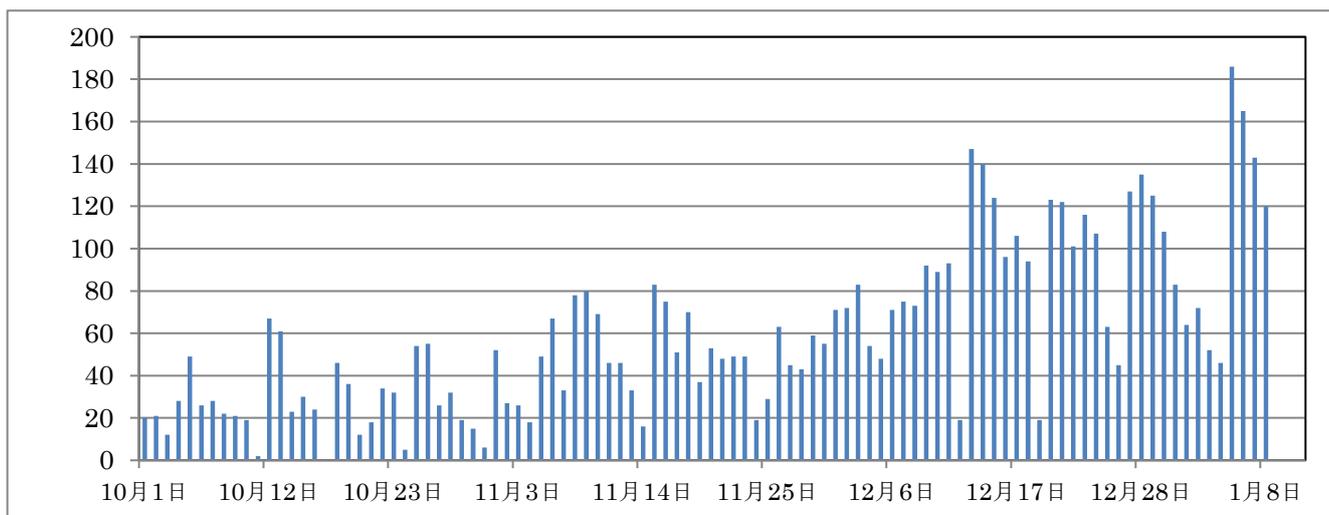


年代別入院者

12月は過去最多の入院者となり、その多くは70代以上が占めている



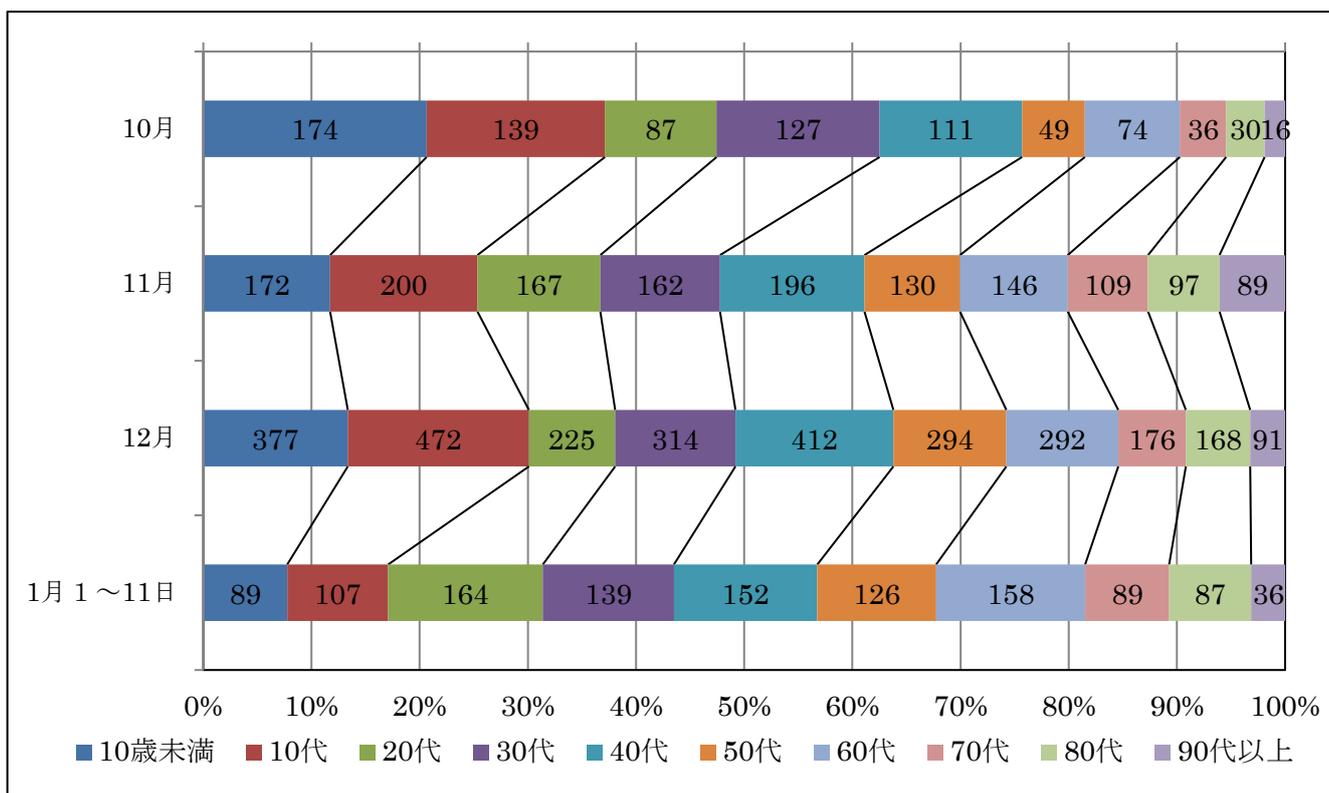
○備北保健所管内の陽性者数の推移（令和4年10月～令和5年1月11日）



公表年月	R4年 10月	R4年 11月	R4年 12月	R5年 1月								累計
陽性者数 (人)	843	1,468	2,821	1,147								6,279
新見市内 クラスター件数 (件)	0	4	3	0								7

(※) 令和5年1月は1～11日までの合計値

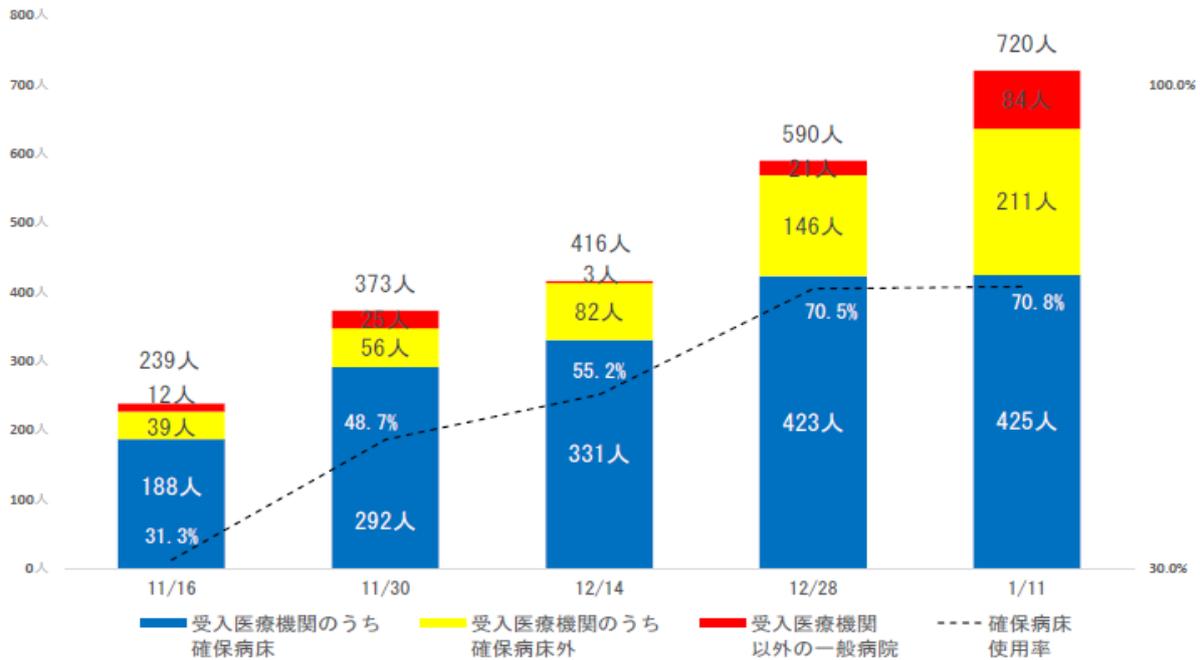
○備北保健所管内新規陽性者数の推移（令和4年10月～令和5年1月11日）



(2) 岡山県の対応 (岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料抜粋)

新型コロナ患者の入院状況

- ・新型コロナ確保病床以外の一般病床にも多くの患者が入院
- ・新型コロナ医療以外の通常医療の患者の入院が制限されている

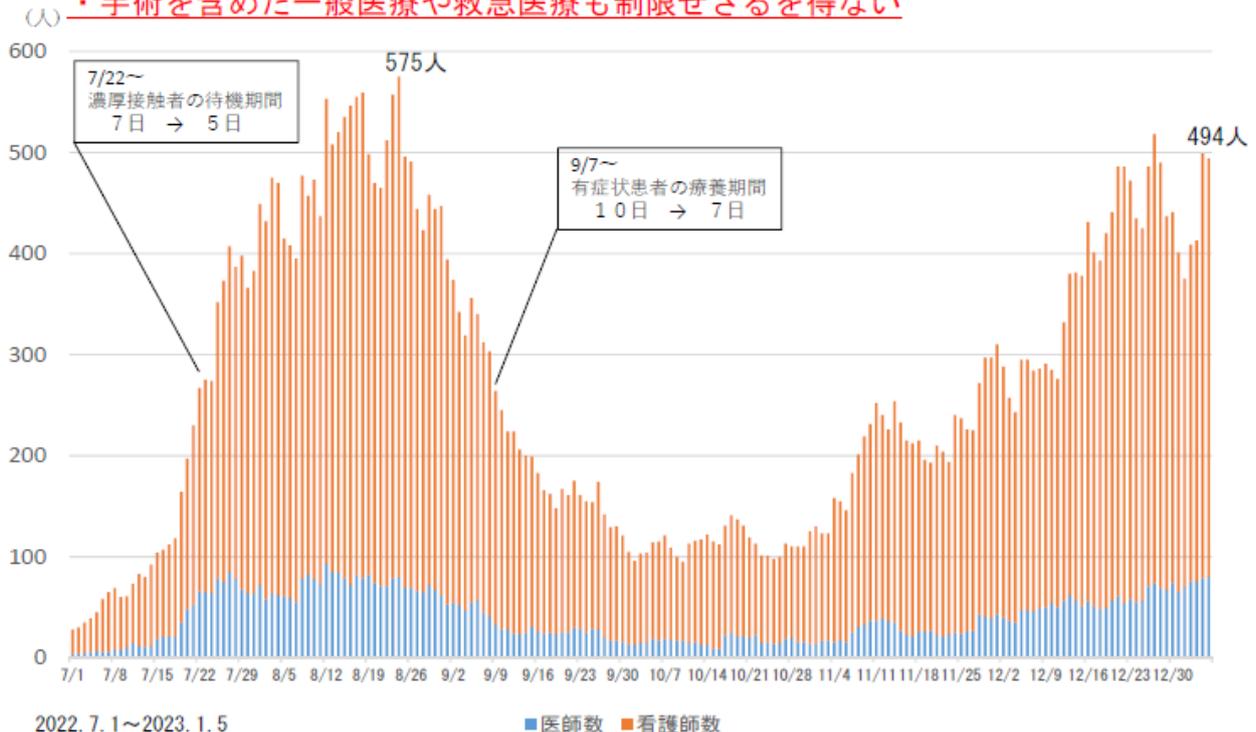


(注) 厚生労働省G-MISで県に報告のあった医療機関分のみを集計

医療従事者の欠勤状況

多くの医療従事者が新型コロナの陽性者（濃厚接触者）となり、出勤できないため

- ・新型コロナの確保病床を全て運用できない
- ・手術を含めた一般医療や救急医療も制限せざるを得ない



現下における医療提供体制のひっ迫状態

● 休日に発熱外来を行った医療機関

- ・発熱患者が多く、通常診療については状況を伝えて平日に来院するようお願いした。発熱患者についても、30～40人はお断りし、無症状、軽症の場合は平日に受診するようお願いした。
- ・検査目的で受診される軽症者もあり、不要不急の場合は平日に受診してほしい。
- ・午前中だけで200件以上の電話があり、常に鳴っている状態。検査枠の上限に達したため、以後は全てお断りした。
- ・他地域からの患者も多く、今回診療した人数が限界であり、多くの受診を断った。
- ・患者数が多く、一般医療、救急医療にも支障が出かねない。

● コロナ患者受入病院

- ・コロナ患者専用の確保病床は全て満床の状態が続いている。
- ・一般病棟においても新型コロナ患者が発生し、確保病床以外の病床で入院を継続せざるを得ない状況である。
- ・医療従事者が陽性者や濃厚接触者になり、勤務できる者がかなり少なくなり、手術を含めた一般医療や救急医療も制限せざるを得ない状況である。

● 消防本部救急隊

- ・搬送困難が極めて多くなっているため、救急隊を増隊しているが、医療機関に搬送完了するまで、2時間以上かかることもある。
- ・搬送困難になる事例は発熱患者が多く、新型コロナ感染を疑い、軽症である場合には、まずは受診相談センターに相談してほしい。

レベル判断

令和5(2023)年1月11日

総合的判断

レベル3

● 事象

○保健医療への負荷の状況		
発熱外来等の負荷		増大傾向
入院医療の負荷		増大傾向
医療従事者の欠勤増加等による医療の制限		増大傾向
○社会経済活動の状況		
その他の欠勤増加等による業務の制限		公共交通機関等で制限は見られていない
○感染状況		
感染者数		増加傾向

● 指標

病床使用率			重症病床使用率		
確保病床の入院者数	確保病床数	使用率	確保病床の重症者数	確保病床数	使用率
425	600	70.8%	13	67	19.4%

コロナ受入確保病床等について

感染拡大に備え、次のとおり変更する。

	1/11まで	1/12から	増減数
医療機関数	69機関	72機関	+3機関
うち重症者用病床	11機関	11機関	±0機関
うち重点医療機関	15機関	15機関	±0機関
うち協力医療機関	28機関	28機関	±0機関
確保病床数	600床	611床	+11床
うち重症者用病床	67床	67床	±0床

診療・検査医療機関における休日診療体制確保の継続

11月下旬～1月に引き続き2月も休日（日曜日・祝日）において、発熱患者等の診療・検査を行う診療・検査医療機関（発熱外来）を支援し、医療提供体制を確保する。

対象医療機関

次の条件をすべて満たす医療機関

- ・診療・検査医療機関の指定を受けていること
- ・休日に3時間以上の診療・検査時間を確保すること
- ・かかりつけ患者だけでなく、初診患者の診療・検査を行うこと

※かかりつけ患者しか診療・検査を行わない場合は対象外

支援額

（3時間以上）10万円/日、（6時間以上）15万円/日
※小児の初診患者の診療・検査を行う場合は、5万円/日を加算

対象期間

令和5（2023）年2月の日曜日、祝日

高齢者施設等の従事者に対する集中的検査の継続

12月と1月については、国からのキット配布を受け、入所系、通所系、訪問系を対象に抗原定性検査キットを配布したが、2月においても従事者を対象とした集中的検査を継続する。

対象地域	県内全域（岡山市及び倉敷市を除く）※岡山市と倉敷市は各市の判断で実施
対象施設	入所系、通所系、訪問系の高齢者施設及び障害者施設（約2,800施設）
対象者	上記施設の従事者
検査方法	対象施設に抗原定性検査キットを配布
検査頻度	2月：1週間に3回 （12月：1週間に2回、1月：1週間に3回）
検査報告	キットを使用した施設は検査数及び結果を県に報告
実施期間	令和5（2023）年2月

医療ひっ迫を軽減するための 緊急のお願い

新型コロナ感染者の増加により、医療提供体制がひっ迫し、救急医療にも大きな影響を与え、**救える命が救えない状況になりつつあります。**

県民の皆様には、医療ひっ迫を軽減するため、**適切な受診への御協力を強くお願いいたします。**

●重症化リスクが低い方は、 抗原定性検査キットによるセルフチェックを

※陽性の場合は、陽性者診断センターを利用（13～64歳で重症化リスク因子のない、症状の軽い方）

●医療機関の受診は、 可能な限り平日の日中に

※あらかじめ電話のうえ受診してください

●救急車の利用や救急外来の受診は、 真に必要な場合のみ



陽性者診断センター



発熱外来



小児の主な症状と緊急性



「救急車利用マニュアル」
総務省消防庁